

## 文献

- 相川祐里 (2004). 周産期の女性が体験した医療者からのポジティブ・サポートとネガティブ・サポート. 日本助産学会誌, 18 (2), 34-43.
- 江本千晴, 照井レナ, 黒田縁 (2022). 混合栄養で授乳を行う母親の児の栄養方法選択のプロセス. 母性衛生, 63 (1), 25-34.
- 藤村一美, 秋月百合 (2016). 病院勤務助産師の職場ストレスとバーンアウトとの関連. 山口医学, 65 (1), 51-63.
- 舟島なをみ, 松田容弘, 山下暢子, 吉富美佐江 (2005). 看護師が知覚する看護師のロールモデル行動. 日本看護学会誌, 14 (2), 40-50.
- グレッグ美鈴, 麻原きよみ, 横山美江 (2016). よくわかる質的研究の進め方・まとめ方 第2版 看護研究のエキスパートをめざして. 医歯薬出版株式会社, 92-98.
- 濱田真由美 (2016). 授乳支援を行う助産師の経験. 日本看護研究学会雑誌, 39 (4), 75-87.
- 濱田真由美(2017). 母乳育児に対する助産師の認識とその背景. 日本赤十字看護学会誌, 17(1), 17-25.
- 濱田真由美, 佐々木美喜, 住谷, 鈴木, 仁昌寺貴子 (2018). 授乳を行う母親の体験—質的研究のメタサマリー—. 日本看護研究学会雑誌, 41 (5), 875-889.
- 原田 美由紀, 牛之濱沙弥香, 谷口美津子, 堤峯子, 坂口ちえみ, 船附陽子, 久米浩太 (2010). 鹿児島県における母乳育児に対する助産師の意識調査. 鹿児島県母性衛生学会誌, 15, 14-15.
- 橋爪由紀子, 堀込和代, 行田智子 (2018). 初産の母親の母乳育児における心配事—産後4ヶ月までに心配や困難を感じた母親へのインタビューより—. 日本助産学会誌, 32 (2), 190-201.
- 我部山キヨ子, 岡島文恵 (2010). 助産師の卒後教育に関する研究—助産師の卒後教育への必要性・時期・内容など—. 母性衛生, 51 (1), 198-206.
- 唐田順子 (2008). 病産院における子育てを見据えた産褥期の支援二の実態と助産師の役割認識. 母性衛生学会, 49 (2), 357-365.
- 厚生労働省 (2019). 授乳・離乳の支援ガイド. <https://www.mhlw.go.jp/content/11908000/000496257.pdf> (検索日: 2023 - 1 - 26)
- 厚生労働省 (n. d.). 健やか親子 21 [ウェブサイト].

<https://sukoyaka21.mhlw.go.jp/about/growth-sukoyaka21/> (検索日 : 2023 - 1 - 26).

前原邦江, 森恵美, 坂上明子, 岩田裕子, 玉腰浩司 (2018) . 年齢・経初産別にみる出産後 6 か月間の母乳栄養率と母乳育児率-「赤ちゃんにやさしい病院」ではない施設で出産した褥婦のコホートから-. 母性衛生, 58 (4) , 575-582.

水谷さおり, 高橋弘子, 恵美須文枝 (2012). 母乳育児を行う初産婦の情緒的側面・認知的側面に作用した医療者のかかわり. 愛知県立大学看護学部紀要, 18, 19-29.

森一恵 (2013) . 産後 1 ヶ月が経過した経産婦の完全母乳育児に対する決定要因の検討. 日本助産学会誌, 27 (1) , 48-59.

村井文江, 斉藤早香枝, 野々山未希子, 江守陽子, 谷川裕子 (2008). UNICEF/WHO の「母乳育児成功のための 10 カ条」の視点からみた関東 6 県における母乳育児の状況—第 2 報母乳育児支援と母乳育児率の関連—. 母性衛生, 48 (4) , 505-513.

永森久美子, 土江田奈留美, 小林紀子, 中川有加, 堀内成子, 片岡弥恵子, 菱沼由梨, 清水彩 (2010). 母乳育児をしている母親の混乱や不安を招いた保健医療者のかかわり. 日本助産学会誌, 24 (1), 17-27.

中村和恵 (2012). 国際認定ラクテーション・コンサルタント (International Board Certified Lactation Consultant). 周産期医学, 48 (12), 1684-1689.

中尾幹子, 元山美貴 (2019). 乳児を持つ母親の開業助産師に対する育児支援ニーズの検討. 母性衛生, 60 (2), 395-403.

日本助産師会 (n. d. ) 助産師の声明・綱領 [ ウェブサイト ].

<https://www.midwife.or.jp/midwife/statement.html> (検索日 : 2023 - 1 - 26).

日本助産師会 母乳育児支援業務基準検討特別委員会 (2016). 赤ちゃんとお母さんにやさしい 母乳育児支援 —助産師のための「母乳育児成功のための 10 カ条とその後に」の実践ガイド—. 日本助産師会出版.

西川朋美, 吉田浩子 (2017) . 産後 1 ヶ月の母親の母乳育児不安の実際とその関連要因. 心身健康科学, 13 (2), 72-78.

NPO 法人日本ラクテーション・コンサルタント協会. 母乳育児がうまくいくための 10 のステップ 「母乳育児成功のための 10 カ条」 2018 年改訂版 [ ウェブサイト ].

[https://jalc-net.jp/dl/10steps\\_2018\\_1989.pdf](https://jalc-net.jp/dl/10steps_2018_1989.pdf) (検索日 : 2023 - 1 - 26).

NPO 法人日本ラクテーション・コンサルタント協会. JALC について [ ウェブサイト ].

<https://jalc-net.jp/information.html> (検索日 : 2023 - 1 - 26).

- 乳腺炎ケアガイドライン 2020 (2020). 日本助産師会出版.
- 大久保功子, 三橋恭子, 斎藤京子 (2000). 会陰部の損傷による産後の日常生活への支障—会陰裂傷対会陰切開—. 日本助産学会誌, 14 (1), 35-44.
- 斉藤佳奈, 猿田了子 (2021). 妊娠後期の母乳育児への意思に影響を与える要因と IIFAS-J (日本語版 Iowa Infant Feeding Attitude Scale) の関連. 日本助産学会誌, 35 (2), 122-132.
- 島田三恵子, 杉本充弘, 縣俊彦, 新田紀枝, 関和男, 大橋一友, 村上睦子, 中根直子, 神谷整子, 森山幸子 (2006). 産後 1 か月間の母子の心配事と子育て支援のニーズおよび育児環境に関する全国調査—「健やか親子 21」5 年後の初経産別, 職業の有無による比較検討—. 小児保健研究, 65(6), 752-762.
- 竹内翔子, 柳井春夫 (2013). 出産後の会陰部痛の関連因子と日常生活への影響. 日本看護科学会誌, 33 (4), 24-32.
- 田尾雅夫, 久保真人 (2003). バーンアウトの理論と実際—心理学的アプローチ—. 誠信書房, 158.
- 塚田幸乃, 河島亜希子, 大田まゆみ, 吉村久美, 口石利恵, 亀崎明子, 田中満由美 (2017). 退院後から産後 1 ヶ月健康診査までに母親が抱く授乳に対する困難感と対処行動. 母性衛生, 57 (4), 709-717.
- 脇本寛子, 田中泉香 (2019). 母乳哺育終了に向けたケアに関する文献検討—日本における母乳哺育終了時の母児およびケアの現状と課題—. 日本母乳哺育学会誌, 13 (1), 86-97.
- WHO (n. d.). Breastfeeding [ ウェブサイト ].  
[https://www.who.int/health-topics/breastfeeding#tab=tab\\_1](https://www.who.int/health-topics/breastfeeding#tab=tab_1) (検索日: 2023 - 1 - 26).
- 山口香苗, 田辺圭子 (2012). 断乳時期・栄養形態による断乳の意思決定要因の違い. 母性衛生, 53 (1), 65-72.